

## 2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 中島俊介	職名 教授	学位 博士 (学術)
研究分野	研究内容のキーワード	
心理学	メンタルヘルス 地域貢献感 地域精神保健	
研究課題		
平和・文化的活動における学生の地域貢献感の向上についての研究		
担当授業科目		
保育内容 (人間関係) 教育心理学 こころと人間 発達心理学 保育の心理学		
授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)		
<p>授業科目名【保育内容 (人間関係)】          受講者の勉学意欲も高く、そのために学生との対話型授業に工夫と努力した。心理劇を演じて保育現場で起こりがちな「ケンカや遊び場面」での人間関係の問題点に自然に気付くように配慮した。人間関係の基礎である、「聞く力・書く力・話す力」が向上したとアンケートから伺えた。</p>		
<p>授業科目名【教育心理学】          教職科目の中で教育原理と並んで重要科目の一つであると認識している。教員採用試験合格を意識して、必ず「試験問題風の課題」をテーマにするように心がけた。期末の定期試験の内容も採用試験を意識した内容とした。学校現場での重要な「人権感覚」のセンスが問われる「いじめ問題」についても対応の基本ルールなども身につけられるように配慮した。</p>		
<p>授業科目名【こころと人間】          心理学講義に対する興味と集中力をいかに高めて持続させるかについて毎年苦慮する。今年度も「映像を講義中に必ず入れる」は実行できた。「質疑を活発にする」はなかなか困難であったが、できるだけ発問をして意欲を喚起した。キープできるように努力した。次年度さらにこの点に工夫を加えたい。</p>		
<p>授業科目名【発達心理学】          看護学科の科目であることを意識して講義した。看護にあたっては人間の年齢ごとの発達課題を学習しておくことは重要である。エリクソンの「人生 8 段階説」を基盤にして胎児期から老年期までの発達課題とその周辺のトピックについて講義した。国家試験にでた過去問について講義した。次年度は今年度よりも時間を多くとり学生の活発な質問や自主的な発表を試みようと思う。</p>		
<p>授業科目名【保育の心理】          地域で必要とされ、信頼される保育士として知っておきたい「子どものこころのありよう」と「保育者自身のこころのありよう」さらに「保護者の願い」について理解と共感を深められるように講義を展開した。小人数なので、きめ細かい指導ができたと学生の振り返りの発言から伺えた。</p>		
<p>授業科目名【                   】</p>		

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本心理学会 日本教育心理学会 日本人間性心理学会		2018年4月加入 1982年4月加入 1998年4月加入

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 ( ) 内は学外者	交付決定額 (単位: 円)
なし			

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
平和活動における看護学生の地域貢献感の向上についての研究（ナイチンゲール平和の灯運動）	小さな平和運動連絡協議会	400.000	

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市人権施策審議会委員（第一期・二期・三期・四期、五期）	第三期より委員長	2003年から2023年3月まで

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
なし